

ちば県議会だより

一般質問

十二月定例会での質問者と質問項目

十一月四日(金)



丸山 慎一 議員 (共産党)

- 知事の政治姿勢
- 総合計画策定
- 高齢者の介護
- 雇用の確保



吉川 洋 議員 (市民ネット・社民・無所属)

- 八ッ場ダム問題
- 柏市学校用地土壌汚染
- 野田市の柏廃材処理センター問題
- 北総鉄道の運賃値下げ



渡辺 芳邦 議員 (自民党)

- 地球温暖化対策
- 港湾行政
- 東京湾アクアライン活用戦略
- 県立高校の工業教育



瀧田 敏幸 議員 (自民党)

- 北総鉄道運賃問題
- 手賀排水機場
- 男女平等教育
- 不正経理問題



藤井 弘之 議員 (公明党)

- 不正経理問題
- 市町村財政問題
- 無料低額宿泊所問題
- 若者就業支援



今井 勝 議員 (自民党)

- 障害児の一時保護
- 不登校の改善に向けた学校への支援
- 手賀沼の水環境
- 中小企業支援策



竹内 圭司 議員 (民主党)

- 知事の県内水道事業の統合への考え方
- 薬物依存者の治療
- 犯罪被害者の支援
- 多重債務者の生活支援



阿部 紘一 議員 (自民党)

- 高齢者介護問題
- 審議会の見直し
- 千葉県土地開発公社
- 中小企業問題



秋山 光章 議員 (自民党)

- 地方自治法施行六十周年記念貨幣の発行
- 農商工連携
- 東京湾アクアラインを活用した企業立地促進策と館山工業団地

十二月八日(火)

海岸漂着ゴミ



松下 浩明 議員 (自民党)

- 防災対策と情報通信基盤整備
- ゆめ半島千葉国体・ゆめ半島千葉大会
- 教育問題
- 自殺対策



高松 健太郎 議員 (民主党)

- 不正経理の再発防止策
- 千葉県防災基本条例制定の提案
- 産科医等確保支援事業(分娩手当)の県費負担
- 信号機の老朽化対策



佐藤 正己 議員 (自民党)

- 幕張メッセ及びその周辺
- 県の組織改革と職員の意識改革
- 幕張・八千代線道路整備
- 習志野市海岸線遊歩道整備



武田 正光 議員 (自民党)

- 小児救急医療
- 東葛飾地域における観光振興
- つくばエクスプレス沿線土地地区画整理事業
- (仮称)新流山橋



大野 真 議員 (自民党)

- 首都圏広域連合

十二月九日(水)

- 国営流域水質保全機能増進事業「印旛沼二期地区」と利根川水系の治水対策
- 不正経理問題
- 市町村合併



遠藤 英喜 議員 (民主党)

- 福祉サービス第三者評価
- 新型インフルエンザワクチン接種
- インターネットカフェにおける本人確認等
- 河川の治水対策



服部 友則 議員 (自民党)

- 動物愛護
- 千葉県農業会議の建議
- 県立八千代広域公園
- 教育問題



阿井 伸也 議員 (自民党)

- 県内水道問題
- 消防・防災
- 二市一町地域医療センター」事



岡村 泰明 議員 (自民党)

- 業計画
- 圏央道とインターチェンジ
- 法人税
- 雇用対策
- 環境問題
- 不正経理問題



石井 宏子 議員 (民主党)

- 社会的養護が必要な子どもたち



大松 重和 議員 (自民党)

- 高齡または障害により自立困難な刑務所出所者の社会復帰支援
- 障害児の通園施設における摂食指導
- 君津廃棄物最終処分場問題
- 園芸王国ちば強化支援事業
- 新規需要米
- 地域医療再生基金造成事業
- 道路問題

質問項目は、紙面の都合上二人四項目以内で掲載しています。詳細は、千葉県議会ホームページ等で確認できます。

知事あいさつ

12月定例 県議会

まずは、皆様にお詫び申し上げなければなりません。11月10日に職員が業務上横領の容疑で逮捕されました。不正経理問題で県民の皆様から厳しい御批判があり、県政への信頼が大きく損なわれている中で、度重なる職員の逮捕という事態を招いたことは、大変申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

また、会計検査院の経理処理に関する検査結果が正式に公表されました。8億2800万円の指摘額のうち、需用費に係る金額8億1500万円につきましては、9月に公表した本県独自調査の約30億円の中に含まれているものです。会計検査院からは、対象28府県市中、本県の額が最も多く、県庁内での相互牽制が全く機能していなかったと、厳しく指摘されました。

このような不祥事を繰り返さないよう、外部有識者によるコンプライアンス(法令遵守)委員会と、私を本部長とする、全庁挙げてのコンプライアンス推進本部を立ち上げました。この組織を活用し、信頼の回復に全力で努めてまいります。

総合計画、行政改革計画及び財政健全化計画の3計画について申し上げます。

総合計画は、骨子案を基に「基本構想」と「実施計画」で構成しています。「基本構想」は「暮らし満足度日本一」を基本理念に、本県が目指す10年後の姿を具体的にイメージできるものになりました。「実施計画」には、本県の目指す姿を実現するため、来年度から3か年で重点的に取り組む施策の内容を記載いたしました。

また、行政改革計画及び財政健全化計画については、外部有識者による行政改革推進委員会において、様々な御意見をいただき、素案を取りまとめました。素案では、行財政基盤の確立のため、「公正・透明な行財政運営の確立」、「県庁のポテンシャルの最大化」、「チームスピリットの発揮」、「持続可能な財政構造の確立」などを改革の視点・目標に掲げ、主な取り組みを示しています。

これら3計画について、県議会、県民の皆様のご意見を踏まえ、平成22年2月上旬までに計画案を策定・公表したいと考えています。

北総鉄道の運賃問題は、沿線自治体の皆様にとって切実な問題であり、長年の悲願でした。11月5日、国からの調整案を受け入れることで、県と6市2村が合意いたしました。内容は、県及び市村の負担3億円、鉄道事業者の負担3億円の計6億円を原資とし、成田



新高速鉄道の開業に合わせ、概ね普通運賃5%、通学定期運賃25%、通勤定期運賃1%を値下げするものです。今回の運賃値下げを第一歩とし、北総鉄道、千葉ニュータウンの活性化につなげていきたいと考えています。

成田空港に関しては、成田空港の利便性の向上を図り、千葉県の戦略拠点として空港を活かした経済活性化策等を検討するため、県経済界・交通事業者・自治体関係者などの参加を得て、「成田空港活用緊急戦略プロジェクト検討会議」を設置することといたしました。これにより、県勢発展の拠点としての成田空港の利用拡大と、本県経済の活性化を目指してまいります。

インフルエンザについては、引き続き感染の拡大が懸念されています。新型インフルエンザワクチンの接種を10月19日、医療従事者に対して開始。11月2日より入院中の妊婦と基礎疾患を有する方の一部に、12月現在は通院中の妊婦及び基礎疾患を有する方を対象に実施しています。また、1歳から就学時前の幼児に対しては、接種を前倒して開始いたします。今後も、迅速かつ適切に対応し、最終的には3月までに約289万人に接種することとしています。

県では、9月から11月まで「秋の観光キャンペーン」を実施。千葉の魅力を紹介し、県内外からお客様をお迎えしています。また、11月を「千産千消千産全消推進月間」として、県産農水産物の販売促進キャンペーンなどを集中的に展開しています。私もさまざまな祭りやイベントに参加し、本県の伝統文化や農水産物など、多彩な魅力を県内外に発信できたと、手ごたえを感じております。今後も、「食の宝庫ちば」、魅力一杯の千葉をセールスしてまいります。その他、議案の概要説明がありました。